

建設業に理解深める

湯沢、高校生が実務体験

高校生を対象にした「建設業体験フェスタ」が、湯沢市の湯沢翔北高校雄勝校で開かれた。同校などの生徒計29人が、小型建設機械の実技講習



給排水工の業務を体験する生徒

や建設業の実務を体験した。雄勝校のほか湯沢翔北、増田、羽後、横手清陵学院各校の希望者が参加し、先月26、27、28、29日の4日間にわたって30日に行った。小型建設機械の構造や安全対策、操作方法を学ぶ講習を受けたほか、橋の補修などの工事現場を見学。鉄筋工やとび工なども体験した。

参加した鈴木凜翔さん(横手清陵高2年)は「自分のつくったものが地域貢献につながるとうれやうを感じられると思った。実務体験では作業に達成感があり面白かった」と話した。

湯沢雄勝地域の建設業者でつくる雄勝建設業協会の主催。建設業の魅力発信や人材育成を目的に2019年から毎年実施している。

(漢文香)